【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成27年8月6日(2015.8.6)

【公開番号】特開2015-27563(P2015-27563A)
【公開日】平成27年2月12日(2015.2.12)
【年通号数】公開・登録公報2015-009
【出願番号】特願2014-207570(P2014-207570)
【国際特許分類】
Ａ４７Ｊ　19/02　(2006.01)
Ａ２３Ｎ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４７Ｊ　19/02　Ｃ
Ａ２３Ｎ　1/00　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成27年6月22日(2015.6.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
素材を搾汁するために用いられる搾汁機用可撓ブレイドであって、
該搾汁機用可撓ブレイドは、長手方向の一端側が他端側に近づけられることによって形成される湾曲した形態と、前記一端側が前記他端側から遠ざけられることによって形成される直線状に延びた形態との間の形態変化が繰り返され、
前記搾汁機用可撓ブレイド自体の復元力によって前記湾曲した形態から前記直線状に延びた形態への復元を可能とする材料によって構成され、
前記材料が、引張試験による永久歪みが０．２％に到達したときの応力として定義される引張弾性限強度が７００ＭＰａ以上あり、該引張試験により得られた応力－歪み線図上で該引張弾性限強度の１／２に相当する応力位置における接線の傾きとして求まる平均ヤング率が１００ＧＰａ以下であるチタン合金である、搾汁機用可撓ブレイド。
【請求項２】
帯状をなし、側縁に鋸歯を有している、請求項１に記載の搾汁機用可撓ブレイド。
【請求項３】
前記一端側の幅よりも前記他端側の幅が広い、請求項２に記載の搾汁機用可撓ブレイド。